

伯耆町の1年間を振り返る 2019年 注目の話題まとめ



伯耆町はこの1年、さまざまな出来事がありました。その中から、2019年の話題をピックアップしてご紹介します。

1・3月 ふたば保育所増改築・こしき保育所園庭拡張完了



保育所への入所希望の増加や保育環境の向上等を目的に改修工事を実施しました。
ふたば保育所では、保育室の増設や厨房・多目的トイレの新設など、こしき保育所では、園庭及び送迎者用駐車場の拡張整備を行いました。

3月 消防団第2分団車庫完成



伯耆町消防団第2分団車庫が移転・完成しました。
新しい車庫は、災害時の消防団員待機場所としての機能強化、消防防災装備品の効率的な収納機能の整備など、迅速な対応が可能となる設計です。



9月 「みぞくちテラソ」オープン



ワーキングコミュニティスペース「みぞくちテラソ」が溝口分庁舎内にオープンしました。「みぞくちテラソ」は、生活にメリハリと潤いを与える施設として、仕事・運動・コミュニティ機能を備え、シニア世代の雇用、健康寿命の延伸、公共施設の有効活用などを目的に運営します。



9月 浸水を想定した避難訓練を実施



平成30年9月に日野川水位が上昇し、避難指示が発令された事態を教訓とし浸水を想定した避難訓練を実施しました。浸水区域の一部集落では、避難準備・高齢者避難開始が発令されたとの想定のもと、溝口公民館に避難しました。

9月 役場本庁舎改修工事完了



2018年から実施していた役場本庁舎と農村環境改善センターの改修工事が完了しました。
本庁舎と改善センターは、建築から30年を経過し、老朽化が進んでいたこと、また、鳥取西部地震・鳥取中部地震と2度の地震を経ていることから、長寿命化、バリアフリー化、利便性の向上などを目的に工事を実施しました。

10月 保育料無償化スタート



国の幼児教育・保育の無償化に伴い、伯耆町でも幼児教育・保育の無償化がスタートしました。
国の方針では保護者が負担するとされた副食費（おかずやおやつ代）についても、伯耆町独自の制度で免除するなど、子育て世代の経済的負担の軽減を図りました。



10月 二岡康平さん 陸上世界選手権出場



伯耆町出身でマラソン選手の二岡康平さん（中電工）が、カタールの首都ドーハで開催された陸上世界選手権男子マラソンに出場しました。
二岡さんは、岸本中学校卒業後に本格的にマラソンを始め、2019年2月の別府大分毎日マラソンで日本人最高の4位に入賞したことが認められ、日本代表選手に選出されました。

12月 上細見堤防着工式



日野川の無堤防区間であった上細見の堤防整備工事の着工式・現場説明会が行われ、関係者が工事の安全を祈願し、鎮火入を行いました。
伯耆町では、平成30年9月の台風24号の影響で日野川の水位が上昇し、避難指示が発令された経験があります。地域一体の安全性向上のために、一日も早い完成が期待されます。

2020年が、
町民皆さまにとって
輝かしい1年と
なりますよう
心よりお祈り申し上げます



問い合わせ先 企画課 町づくり推進室
TEL: 0859-68-3113

今年の干支 子年ってどんな年

子年には、増えるという意味合いがあり、草木の生命を始めとした命が誕生する意味があります。
動物のネズミから分かるように子宝にも恵まれる年のようなようです。

子年の出来事

- 美空ひばりさんが歌手デビュー（昭和23年）
- 日本でカラーテレビの本放送開始（昭和35年）
- 札幌オリンピック（昭和47年）
- あさま山荘事件（昭和47年）
- アメリカから日本へ沖縄返還、沖縄県発足（昭和47年）
- 原爆ドームが世界遺産に登録される（平成8年）
- 世界規模の金融危機リーマン・ショック発生（平成20年）